



めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.1
令和6年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

大阪維新の会
大阪府議会議員

森田あやねの府政報告



**東成区の魅力発信や
地域活動に邁進しています!**



吉村洋文知事

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により犠牲になられた方々に、心より哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。

大阪府民の皆様の安全安心のためにも、吉村知事とともに今後の防災と減災について、気を引き締めて取り組んでまいります。

令和5年4月9日に東成区の皆様にご重なる **16,972票** を頂き初当選させていただいてから1年が経ちました。これからも日々研鑽を重ね、皆様のお声をお伺いしながら、東成区の魅力発信や地域活動により一層邁進してまいります。

下記SNSもフォロー頂けると嬉しいです★



Facebook



X (旧Twitter)



Instagram

[LINE] 友達登録



お願い致します!

府政に関する相談やお問合せは 〒537-0012 大阪市東成区大今里4-27-28
森田あやね事務所 TEL・FAX (06) 4259-3006

森田あやねの委員会質問

令和6年2月定例会 教育常任委員会 (3月12日)

災害ボランティア活動について

Q 令和6年元旦に起きた能登半島地震を受けて、「自助」と「共助」の精神を養うことも重要と考えます。国の事業を活用して高校生の被災地訪問を支援している事業があり、子どもたちが自発的に防災に関して学習する、非常に良い取り組みですが、その事業の取り組みについて伺います。

A 府教育庁は、高校生の防災意識向上と「自助」「共助」精神の育成を目指し、高校生が被災地訪問し、現地の高校生や被災者等との交流のボランティア活動の推進・支援事業を行なっています。今年度新たに参加した学校は大阪北部地震の際、義援金を届けてくれた宮城県立多賀城(たがじょう)高等学校へお礼を伝える為訪問し、被災地におけるボランティア活動を通して、自分達が人の助けになっている「共助」の精神を学ぶ有益な機会になったとの意見を得られました。

要望 避難訓練では、学校内だけでなく地域との連携も重要です。生徒に避難所運営などを体験させることで災害時の対応力を身につける機会を学び、地域と連携して非難所運営の体験をする事によって、将来地域社会での共助の担い手として活躍する若者が育まれることを期待しています。



大阪府立桜塚高校(定時制課程)を視察しました



教育常任委員会で会派を代表し1年間を総括する意見開陳をさせていただきました。

夜間定時制の入試のあり方について

Q 定時制高校は今、かつての正規社員で働きながら学ぶ状態から大きくその役割が変化し、不登校経験のある生徒、障がい等により配慮を要する生徒、日本語指導が必要な生徒など、多様な入学動機や学修歴を持つ生徒の学びの場としての役割を担っています。このような生徒が受験する現在の入試制度について伺います。

A 定時制の課程における現行の選抜制度は、21歳未満の志願者については、国語、数学、英語の3教科による学力検査の成績、調査書及び自己申告書を選抜資料として合格者を決定する。また、21歳以上の志願者については、調査書に代えて面接を実施することとし、同様に3教科の学力検査の成績、面接の評価及び自己申告書を選抜資料とし、志願者が希望する場合には、学力検査を小論文に代えることができるとしている。

要望 中学校にほとんど通えなかった生徒にとっては、学力検査や調査書は、心理的なハードルにつながってしまうのではないかと心配しています。これから検討される入試制度の改善において、定時制で学びたい意欲のある生徒が受験しやすく、入学に向けて意欲的になる方法についても考えていただきたい。定時制高校に通うことで身につく学びや絆は、人生における力の礎となり、様々な事情を抱える学びたい意欲がある人々に適う入試制度を検討してほしい。定時制高校を必要とする生徒たちにとって安心できる学びの場として、学びの希望を持ち続けられるような充実したセーフティネットの役目を果たすよう願っています。

最後に...

子どもたちは日本の未来を象徴し、彼らが元気でなければ国も元気になれないと考えます。大人たちは子どもたちの課題や人格形成をサポートする責任を持つべきだと考えます。教育は子どもたちに必要なものを提供する唯一の手段であり、教育現場がより有益なものを子ども達に提供できるよう支援を強化してほしいと願っています。
予算の制約があっても、日本の活気を取り戻すために子どもたちに投資し、家庭環境に恵まれない子どもたちも周りの大人の支援を受けながら自らの人生を切り拓く強い心を育むことが重要です。

大阪維新の会大阪府議会議員団の府政報告



25年後の自分と会える!

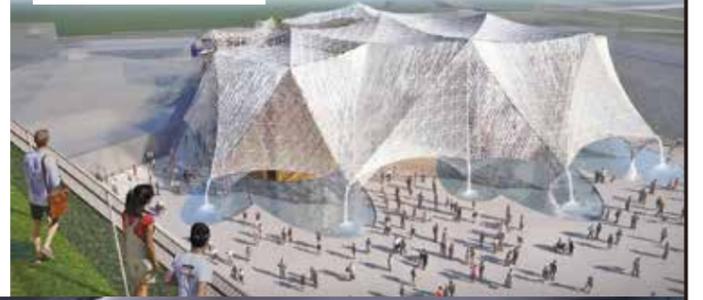
大阪パビリオンの「REBORN体験ルート」

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会が展示概要を発表 (3月25日)

「REBORN」をテーマに、「いのち」や「健康」の観点から、子どもから大人までが楽しみながら、ミライの大阪の可能性を感じることができる展示体験を提供。



「大阪パビリオン」の外観イメージ



ミライの自分 (PHRポッド、ライド、ミライの自分)
イメージ図提供: 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

メイン展示の「REBORN」

来場者の医療や健康などの情報である「PHR (パーソナルヘルスレコード) データ」を元に、それぞれの25年後の姿のアバターを形成する。その後、パビリオン内での未来のヘルスケア体験などを経て、アバターが生まれ変わった姿になる。

ミライのヘルスケア



栄養・身体・心に関する様々なミライのヘルスケア体験を提供

ミライのフード



PHRをもとに、ミライのヘルスケアフードを提供

ミライのエンターテインメント



ARグラスなど先端技術を用いたXR(※2)シアター

※1 PHR (パーソナル・ヘルス・レコード): 個人の健康等に関する情報 ※2 XR (クロスリアリティ): [VR (仮想現実)] [AR (拡張現実)] [MR (複合現実)] といった先端技術の総称

うめきた2期区域の先行まちびらき 令和6 (2024) 年9月6日に決定!!

大阪府・大阪市では、西日本最大の鉄道ターミナル駅前に立地し、関西広域からの高いアクセス性を有するうめきた2期区域において、都心部におけるこれまでにない魅力をもった大規模な「みどり」の空間の創出や、ライフデザイン・イノベーションをテーマとした新産業の創出拠点の形成などにより、「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」の実現をめざしています。そのうめきた2期区域 (グラングリーン大阪) の先行まちびらきが本年9月6日に行われます。

今後は、令和7年 (2025年) の大阪・関西万博の開催までに段階的なまちびらきを行い、令和9年度 (2027年度) には全体まちびらきを予定しています。

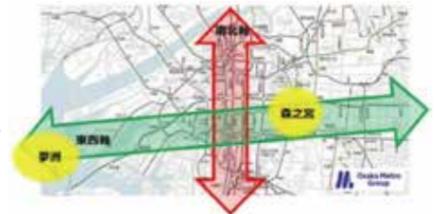
国内外から多くの人々が来訪する大阪・関西万博に先がけて、大阪の玄関口となる、うめきた2期区域の先行まちびらきを行うことで、大阪・関西万博をより一層盛り上げ、大阪・関西の発展をけん引するとともに国際競争力の強化に資する拠点の形成を推進します。



公園完成イメージ

大阪城の東側に1万人規模のアリーナや新駅 空飛ぶクルマ離着陸場も整備

2月13日、吉村知事が、万博やカジノを含む統合型リゾート (IR) の会場となるベイエリアを「ニシ」の拠点としたうえで、「ヒガシ」の拠点とする大阪城東部地区のまちづくり方針が決まりました。アリーナや新駅、空飛ぶクルマの離着陸場など、2028年春を目標に整備するとしています。



大阪府・市、経済界、学者等による「大阪城東部地区まちづくり検討会」が同地区の開発方針を了承して決定したものです。

府と市は、大阪城の東側に2025年秋に開校予定の大阪公立大学森之宮キャンパスを中心としたまちづくりの方向性を、大学や大阪メトロと検討してきました。

吉村洋文知事 **ここにしかないような東の拠点をづくりあげたい。非常にわくわくしている!**



新駅のデザインパース (Osaka Metro発表資料 (令和4年12月21日) より)
※計画地南東より見た場合のイメージであり、今後変更になる可能性がある。



府民の意識調査 大阪・関西万博開催の意義や効果について、期待することは?

- ①国内外からの多数の来場者による大阪・関西経済の活性化…26.9%
- ②地元パビリオン (大阪館) による大阪・関西の魅力発信…25.0%
- ③空飛ぶクルマや待ち時間ゼロゲートなど最先端技術の開発・実装…21.7%
- ④高速道路や鉄道などの会場アクセスの充実…21.3%
- ⑤建設費のコスト管理・削減及び事業計画の見える化などの情報公開…20.9%

(複数回答 上位5項目) (令和6年2月6日~8日 大阪府民1,595人対象にインターネット調査)

大阪府域での期間を限定した「ライドシェア」導入について

